



新年のごあいさつ

生活協同組合コープながの
理事長 太田 栄一



謹んで新年の
お喜びを申し上げます

日ごろよりコープながのの事業・活動にご理解、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、組合員の皆様の利用や参加に支えられ、伸張する事業や活発な諸活動を背景に「安曇野センター」と「コープ飯田錦町ステーション」を新たに開設することができました。安曇野センターは宅配事業の13箇所目となる施設です。コープ飯田錦町ステーションは宅配事業のステーションに組合員ルームを併設した初めての施設となります。また、両新施設と東御市に

ある遊休地に太陽光発電設備を設置し、再生可能エネルギーの活用をさらにすすめることができました。組合員の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

振り返りますと、2018年は例年になく豪雪、豪雨、台風、地震などの自然災害により、各地で甚大な被害が多数発生いたしました。組合員の皆様には、度重なる災害に対し支援募金等を通じて多大なるご協力をいただきました。あらためて御礼を申し上げます。コープながのは、8年が経とうとしている東日本大震災の被災地を含め、引き続き全国の生協や行政・支援団体と協力して被災地の支援に取り

組んでまいります。

さて、2015年に国連サミットで採択されました「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けて、政府をはじめ、多くの組織や企業が取り組みを始めております。SDGsは、

貧困や飢餓、エネルギー、気象変動、平和的社会など持続可能な開発のための諸目標を2030年までに達成しようと、全ての国連加盟国が賛同したものです。そして「誰一人取り残さない」ことを宣言するSDGsは、生協をはじめとした協同組合の理念と多くが共通しています。生協はこれまでもSDGsに関わる多くの課題に

取り組んでまいりました。今後も事業や様々な活動の分野において、SDGsの目標達成に貢献することが期待されておりますし、わたしたちの使命でもありと考えております。

2019年は、ビジョン2025の実現に向けた第二期中期計画の最終年度を迎えます。「誰からも頼られる生協」を目指し、多くの方には選ばれる事業をつくり、多様な参加を広げ、コープのファンづくりとSDGsの推進に取り組んでまいります。本年も、皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

